



あひるぐみだより



2020 年度 1 月号
尚徳福祉会
生麦保育園

明けましておめでとうございます。

あひる組での生活も残すところあと3ヶ月となりました。あひる組と一緒に過ごせる時間を子どもたちと楽しみながら、進級に向けての活動も少しずつ増やしていきたいと思います。今年もよろしくお願ひ致します。



サンタクロース作り

サンタさんの赤い服に白色のクレヨンで模様を描きました。白色のクレヨンを渡すと、線を書いたり白く塗ったり、満足するまでクレヨンをギュッと握り離そうともしませんでした。目は黒色の丸いシールを使い、子どもたち一人一人がそれぞれのサンタさんの顔に貼ったので、その子自身の特徴が現れた個性豊かな作品となりました。

完成したサンタを飾ると、お迎えに来た保護者に「これ！」と自分の作品を教えている姿が見られました。

雪だるま制作

雪だるまに丸いシールを使って模様を貼りました。子どもたちは、柄や色のシールを選び好きな所に貼りました。縦一列に貼る子や横一列に貼る子、バラバラに貼る子など自由に制作を楽しみました。もっとシールを貼りたそうにする子も多く、シールを貼るのがとても好きな様子が伝わりました。

雪だるまをお部屋に飾ると、自分の作品を探し、「あったー！」と言って嬉しそうにしている姿がありました。



何事も自分でやりたい お年頃

自分でパンツやズボン、靴下、靴を履くことに一生懸命挑戦しています。ズボンが前後ろ逆であったり、靴が左右逆になってしまうこともありますが、自分で履けると、保育者に「できた！」と嬉しそうな表情をしていました。保育者に手伝って欲しいと甘える時もありますが、「自分で！」と一人で頑張ってみようとする事が多くなりました。少しずつ出来る事が増えてきているので、温かく成長を見守っていききたいと思います。



子どもたちの様子

子どもたちは、外遊びが大好きです。「靴下と上着を持ってくるね」と保育者が言うと、「やったー！」と嬉しそうな様子で支度をしています。テラスや園庭、お散歩で陽の光を浴びながら、寒さに負けず、かけっこをしたり、砂場でお友だちとごっこ遊びをしたりして楽しんでいます。「そろそろお部屋に入ろうか」と声をかけると、まだ外で遊びたいのか、名残惜しそうにテラスや園庭を見ながら室内に入っていきます。これから寒さが増しますが、戸外遊びが充実出来るよう工夫していきたいと思ひます。

